

会計名 一般会計			学習発表会実施事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	小垣江市民センター		
10	6	9					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	小垣江市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表・展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会等を年1回、小垣江市民センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	小垣江市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	平成2年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		2月14日（日）開催 ・参加団体数 27団体 ・参加者数 314人 ・入場者数 759人		2月12日（日）開催 ・参加団体数 28団体 ・参加者数 324人 ・入場者数 855人		2月11日（日）開催 ・参加団体数 27団体 ・参加者数 314人 ・入場者数 883人		2月上旬開催 ・参加団体数 28団体 ・参加者数 320人 ・入場者数 885人		
成果		・参加者の学習意欲の向上が図られ、新たな学習課題の発見につながった。 ・参加団体間の交流が図られた。 ・参加者と地域住民との交流や親睦を深められた。								
課題		参加者数が前年実績より減少したため、参加者数を増やす取組が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		参加団体数（団体）			27	28	27	28	28	
成果指標		来館者数【参加者数+入場者数】（人）			1,073	1,179	1,197	1,205	1,205	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		341	341	341	342	合計	341,200 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	341	341	341	342	使用料及び賃借料	21,200 円		
	職員人件費 ②		1,959	1,954	1,939	2,730				
	総事業費（①+②）		2,300	2,295	2,280	3,072				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	小垣江市民センター
款	項	目		担当係	
10	6	9			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	小垣江市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	小垣江市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	学習成果の発表の場の提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			市民講座開設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	小垣江市民センター		
10	6	9					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3か月間（各10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者数は、20～30人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に参加できる場を設ける。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住または在勤の人			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 133人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 132人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 108人		・市民講座開設数 6講座 ・市民講座受講者数 130人		
成果		受講者の知識・教養の向上、技能の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		市民講座修了後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	市民講座受講者数（人）				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
指標					133	132	108	130	130	
他市との比較検証	近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		637	687	655	734	合計	655,291 円		
	財源	特定財源	122	118	95	96	報償費	468,000 円		
		一般財源	515	569	560	638	需用費	98,511 円		
	職員人件費 ②		4,309	4,298	4,265	6,240	役務費	20,000 円		
	総事業費（①+②）		4,946	4,985	4,920	6,974	使用料及び賃借料	68,780 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
	29年度までの累積事業費		0		講座受講料					
	31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	小垣江市民センター		
10	6	9					担当係			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	生涯学習施設（小垣江市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。			主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、休日夜間管理事務、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民			事業期間	昭和61年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・小垣江公民館利用者数 22,336人 ・施設利用率 38.7%		・小垣江公民館利用者数 23,092人 ・施設利用率 39.0%		・小垣江公民館利用者数 20,855人 ・施設利用率 34.9%		・小垣江公民館利用者数 21,000人 ・施設利用率 36.0%		
成果		身近な学習施設である小垣江市民センターで、年代を問わず公民館利用者が気楽に利用できるよう住民の利便を図り、生涯学習の場を提供できた。								
課題		公民館利用団体の中で、団体数及び会員数が減少しており、施設見学者などに既設のサークル活動を広報して参加を促すなど、公民館利用者を増やす取組が必要である。								
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。								
C 事業コスト	単位：千円		27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	29年度 事業費内訳			
	事業費 ①		12,649	12,579	13,238	13,864	合計	13,238,188 円		
	財源	特定財源	1,471	1,526	1,466	1,486	需用費	3,343,011 円		
		一般財源	11,178	11,053	11,772	12,378	役務費	111,757 円		
	職員人件費 ②		4,309	4,298	4,265	6,240	委託料	9,650,732 円		
	総事業費 (①+②)		16,958	16,877	17,503	20,104	使用料及び賃借料	132,688 円		
	建設事業	全体事業費 (単位：千円)		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		市民センター利用料						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	小垣江市民センター	
10	6	9					担当係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（小垣江市民センター）の補修を行い、利用者にとって、安全で快適な施設の維持を図る。				主たる内容	空調機修繕		
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例、建築基準法					
		対象者	市民			事業期間	昭和61年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 児童館木製建具取替等工事 児童館ホール等修繕 空調機修繕 玄関内側自動扉開閉装置取替修繕 		_____		<ul style="list-style-type: none"> 各所空調室内機吸込みグリル取替修繕 1階遊戯室空調室内機修繕 1階老人センター全熱交換器取替修繕 		_____	
成果		施設及び設備の補修を行い、生涯学習施設として良好な機能を維持した。							
課題		施設の老朽化に伴い、随時補修を行っていく必要がある。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,035	0	580	0	合計	579,960 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	579,960 円	
		一般財源	4,035	0	580	0			
	職員人件費 ②		783	0	775	0			
	総事業費（①+②）		4,818	0	1,355	0			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
	29年度までの累積事業費		0						
	31年度以降の事業費見込		0						